



# はいしっくい

*High Sikkui*

## 施工要領書

【改定】2020年12月

※本要領書の内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

**Best Walls, Best Life**

しっくいと共に

日本プラスター株式会社

## 1. 使用材料

### 【 使用材料 】

使用材料	荷姿	適用部位	標準塗り厚	施工面積
はいしっくい	20kg 防湿紙袋	内・外壁	1.0 mm～2.0 mm	16～32 m <sup>2</sup> /袋

使用材料	荷姿	標準塗り厚	施工面積	用途
マルチベース (内壁の湿式下地)	20kg 紙袋	約 1.5 mm	約 12 m <sup>2</sup> / 袋	せっこうボード下地の 目地処理材および下塗り 材
ボードプラスターF (内壁の湿式下地)	20kg 紙袋	約 1 mm	約 16 m <sup>2</sup> / 袋	せっこうボード下地の 目地処理材および下塗り 材

使用材料	荷姿	標準塗り厚	施工面積	用途
NP-α(アルファ) (外壁の湿式下地)	18kg プラ缶	0.5～1mm	14～28 m <sup>2</sup> /缶	モルタル・コンクリート の下塗り材

使用材料	荷姿	用途
ウルトラナノ浸透プライマー	14kg プラ缶 または 4kg ポリ缶	浸透型表面強化剤 兼 アク止め剤

使用材料	荷姿	調合比率※3倍希釈の場合
NP シーラック (吸水調整材)	18 kg 金属ペール缶	原液 : 清水 1 : 2 (18 kg) (約 36 ㍓)

## 2. 適用下地

### ●せっこうボード

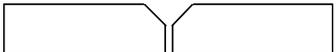
※せっこうボードの切断面が露出した場合は、事前に NP シーラック 3 倍液を塗布してください。

### ●モルタル・コンクリート・土壁

### 3. せっこうボード下地のつくり方

#### ● ボードの選定

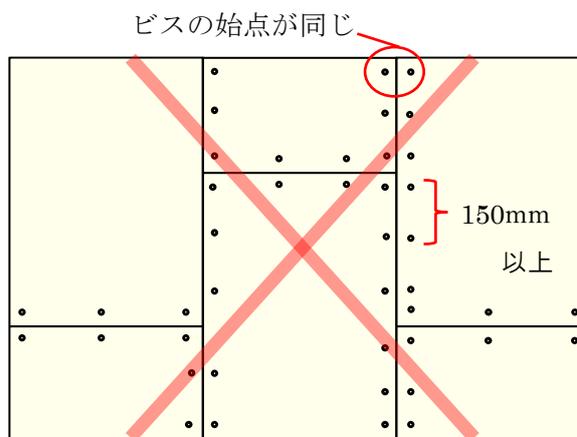
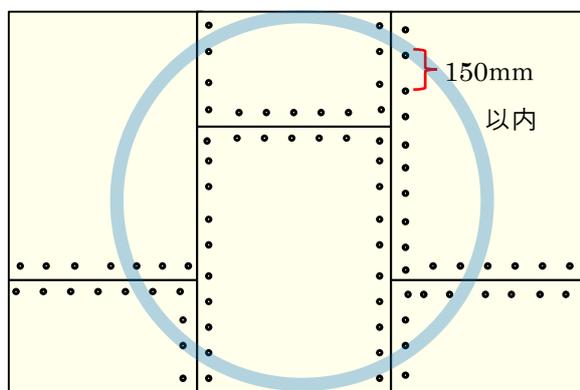
・ボードの厚みは 12.5mm を推奨します。9.5mm 厚の場合、ボードの歪みによるひび割れが発生する恐れがあります。

ボードの種類	推奨	形状	備考
テーパーエッジボード	◎		ボード同士の密着性がより強い
ベベルエッジボード	○		ボード同士の密着性が強い
スクエアエッジボード	△		ボード同士の密着性が弱い ひび割れが発生しやすい

#### ● ボードの貼り方・ビス留めの間隔

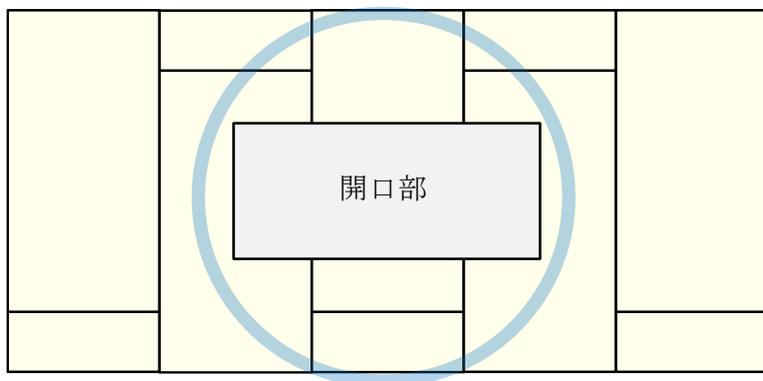
・より割れにくい下地にするには、二重張りを推奨します。二重張りとする場合は、必ず下張りのせっこうボードとジョイント位置をずらし、接着材を全面に塗り付け、ステーブル等で固定してください。

- ・柱、間柱の間隔は 455mm を基本としてください。
- ・ビスの間隔は 150mm を基本としてください。
- ・ビスの長さは、ボードの厚みの 2.5~3 倍としてください。
- ・ビスの始点と同じにならないようにしてください。
- ・直張り工法(ダンゴ貼り)による、せっこうボード下地はお薦めできません。

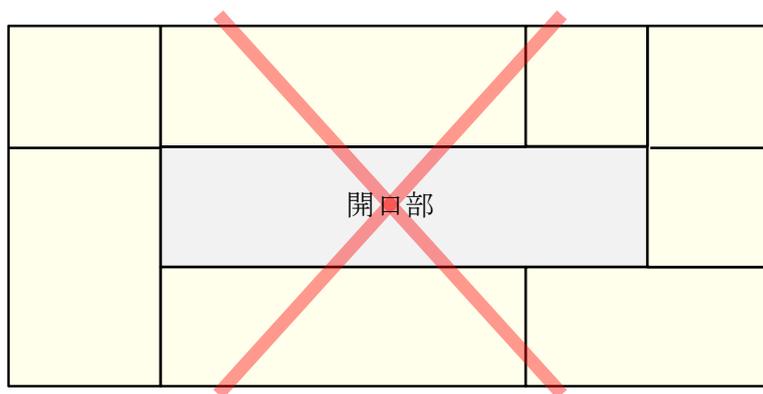


● 開口部周りの処理方法

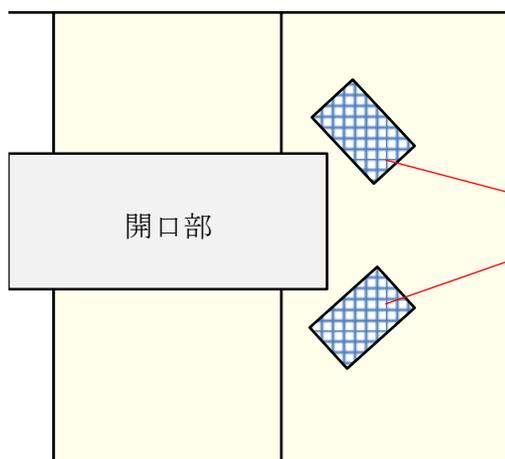
- ひび割れ防止のため、開口部の角にボードのジョイント部を設けないでください。
- 開口部の周りにファイバーテープを貼り補強してください。



ボードのジョイント部を窓やドアの角に設けない。

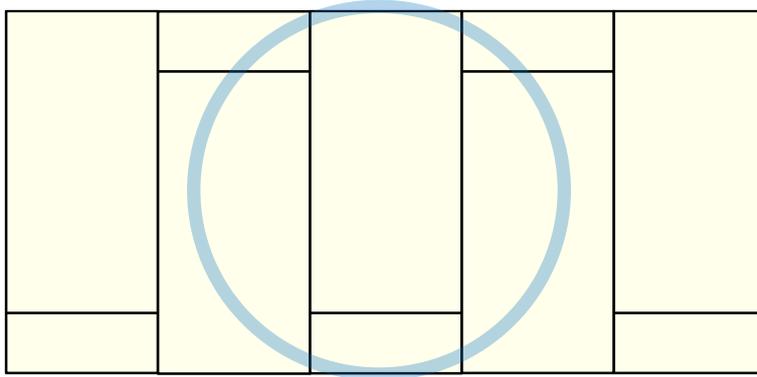


ボードのジョイント部が窓やドアの延長線にある場合、振動等でひび割れが発生しやすい。



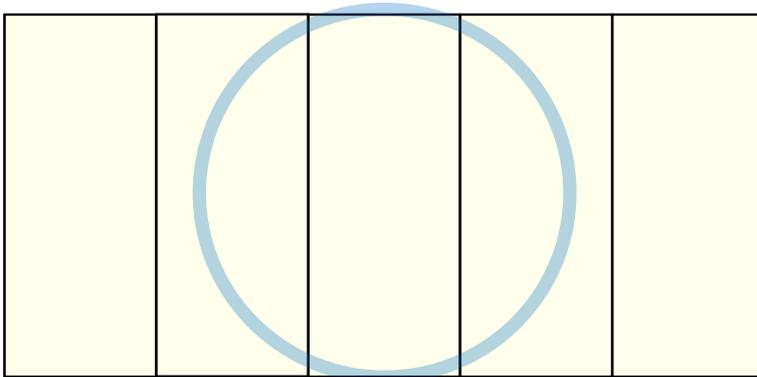
ファイバーテープを貼って開口部周辺を補強する

● 塗り壁に適したジョイントのつくり方



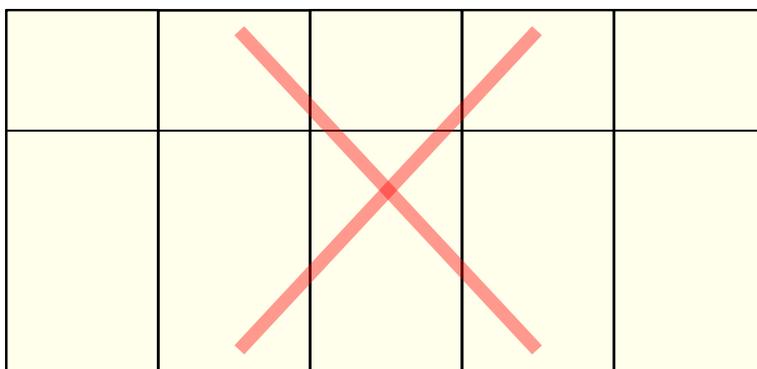
千鳥貼りすることでボードの継ぎ目に横目地が通らずひび割れしにくい。

床面



3×8 ボードを貼り、横目地をなくすことでひび割れを防ぐ。

床面

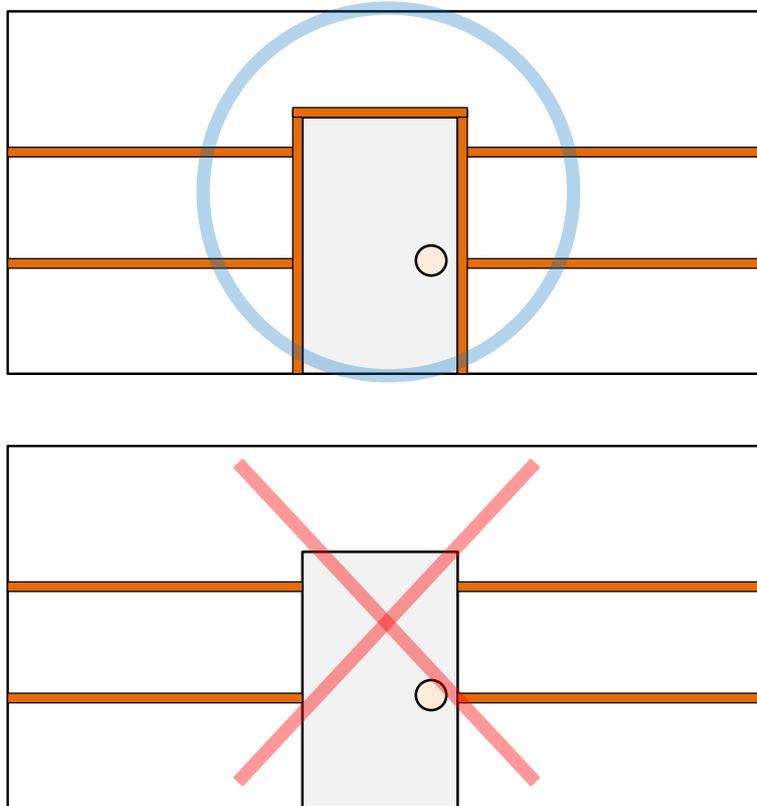


縦、横に目地が入ると動きやすく、ひび割れしやすくなる。

床面

● 受け木を設ける

・窓やドアの周辺には受け木を設けてください。ボードが固定され、ひび割れを防ぎやすくなります。



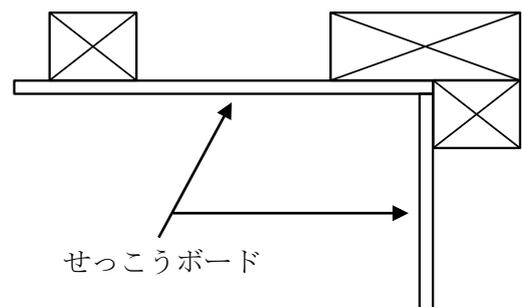
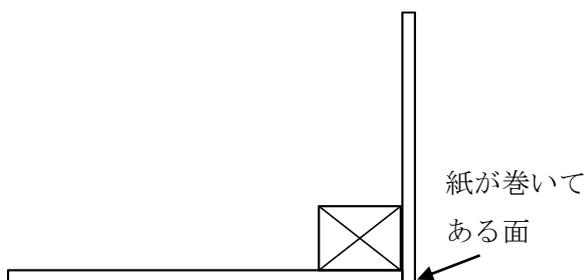
● 出隅・入隅のつくり方

【出隅】

・出隅はボードの切断面が出ないように紙が巻いてある面を使用してください。  
・やむを得ずボードの切断面が露出する場合は、事前に NP シーラック 3 倍液を塗布・乾燥させてください。

【入隅】

・入隅は木下地で補強してください。



#### 4. せっこうボード下地の施工方法

せっこうボード下地に適用する際の施工フローを図1に示す。

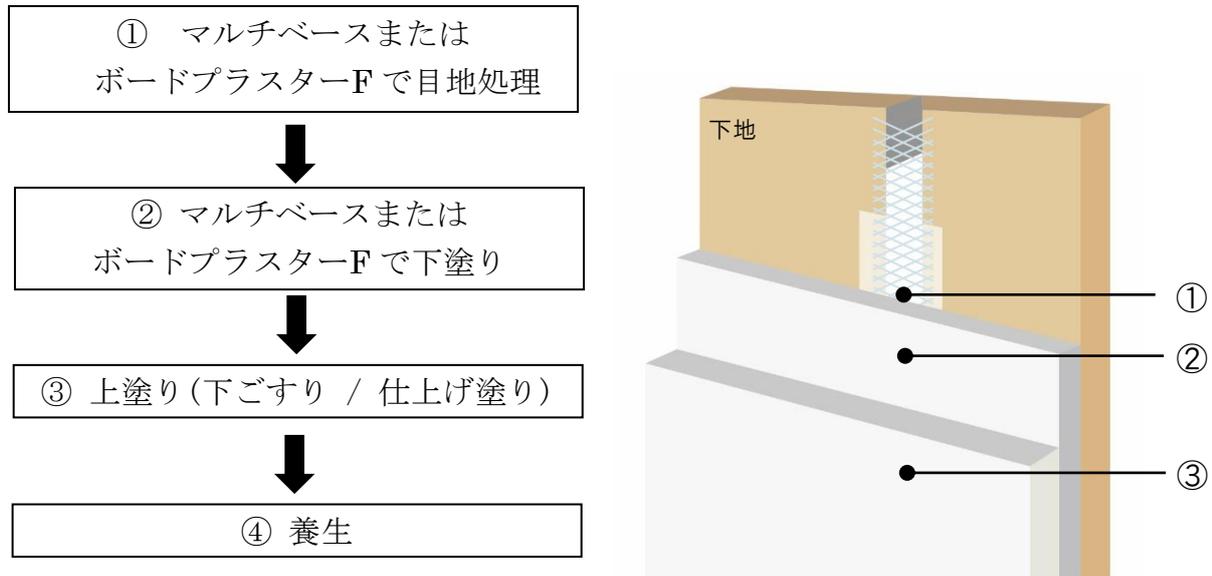


図1. せっこうボード下地の施工フローおよび構成図

#### ※ 事前の確認

せっこうボードの貼り方が万全でないと、継ぎ目からひび割れが発生する恐れがあるため、ボードが正しく貼られているか事前に確認してください。また、表面のほこり・汚れ等を除去し、健全な下地としてください。

#### ① マルチベースまたはボードプラスターFで目地処理

マルチベース 1袋(20kg) に対して 清水 6.5ℓ (固練りの水量) または  
ボードプラスターF 1袋(20kg) に対して 清水 5.0ℓ (固練りの水量) を入れ、ハンドミキサーで3分以上十分に攪拌してください。

せっこうボードの継ぎ目部にマルチベースまたはボードプラスターFをしっかり埋め込み、ファイバーテープを貼り付けてください(※ スクエアエッジボードでは、埋め込みは不要です)。さらに、その上にマルチベースまたはボードプラスターFをこすり付けるように塗り付け、ファイバーテープとなじませてください。このとき、継ぎ目部が盛り上がらないよう、余分な材料は取り除いてください。

また、せっこうボードに打ち込んだ頭釘にも、マルチベースまたはボードプラスターFをこすり付けるように塗り付けてください。

目地処理から2時間以上空けてから下塗りを行ってください。

## ② マルチベースまたはボードプラスターFで下塗り

マルチベース 1袋(20kg) に対して 清水 7.5ℓ または  
ボードプラスターF 1袋(20kg) に対して 清水 5.8ℓ を入れ、ハンドミキサーで3分以上十分に攪拌してください。

マルチベースまたはボードプラスターFで下ごすりを行い、追っかけで所定の塗り厚まで塗り付けてください。その後、水引きを見て金ゴテで平滑に押さえてください。

下塗りが完全に乾いたことを確認後、仕上げ材による上塗りを行ってください。

## ③ 上塗り(下ごすり / 仕上げ塗り)

所定の水量(はいしっくい 1袋に対して清水 20~21ℓ)で練り混ぜた【はいしっくい】で下ごすりを行った後、水引きを見て仕上げ塗りを行ってください。

また、必要に応じて金鏝押さえを行ってください。

## ④ 養生

施工後は、窓を開けるなど、できるだけ通風に心がけてください。扇風機等を回すと乾燥が促進され、乾燥の遅い場合に有効です。

※施工後、強い風を塗膜に直接当てると、ひび割れが発生しやすくなるので注意してください。

### <出隅・入隅の施工方法>

せっこうボードの場合の出隅・入隅に適用する際の施工フローを図2に示す。

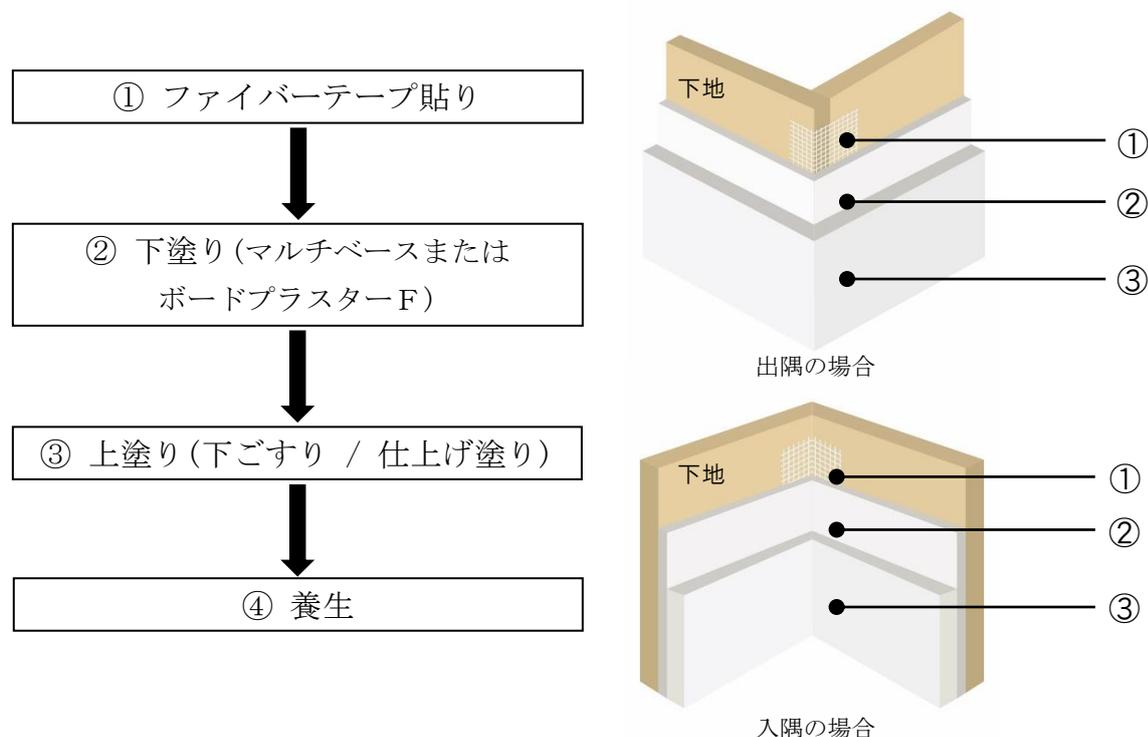


図2. 出隅・入隅の施工フローおよび構成図

## ※ 事前の確認

せっこうボード表面のほこり・汚れ等を除去し、健全な下地としてください。出隅等でせっこうボードの切断面が露出した場合は、NPシーラック 3 倍液を塗布して乾燥させてください。

### ① ファイバーテープ貼り

せっこうボードまたは合板の出隅・入隅にファイバーテープを貼り付けてください。

### ② 下塗り

マルチベースまたはボードプラスターFで下塗りを行ってください。

### ③ 上塗り(下ごすり / 仕上げ塗り)

所定の水量(はいしっくい 1 袋に対して清水 20~21ℓ)で練り混ぜた【はいしっくい】で下ごすりを行った後、水引きを見て仕上げ塗りを行ってください。

また、必要に応じて金鏝押さえを行ってください。

### ④ 養生

施工後は、窓を開けるなど、できるだけ通風に心がけてください。扇風機等を回すと乾燥が促進され、乾燥の遅い場合に有効です。

※施工後、強い風を塗膜に直接当てると、ひび割れが発生しやすくなるので注意してください。

## 5. 外壁での施工方法

モルタル、コンクリート、土壁下地に適用する場合の施工フローを図3に示す。

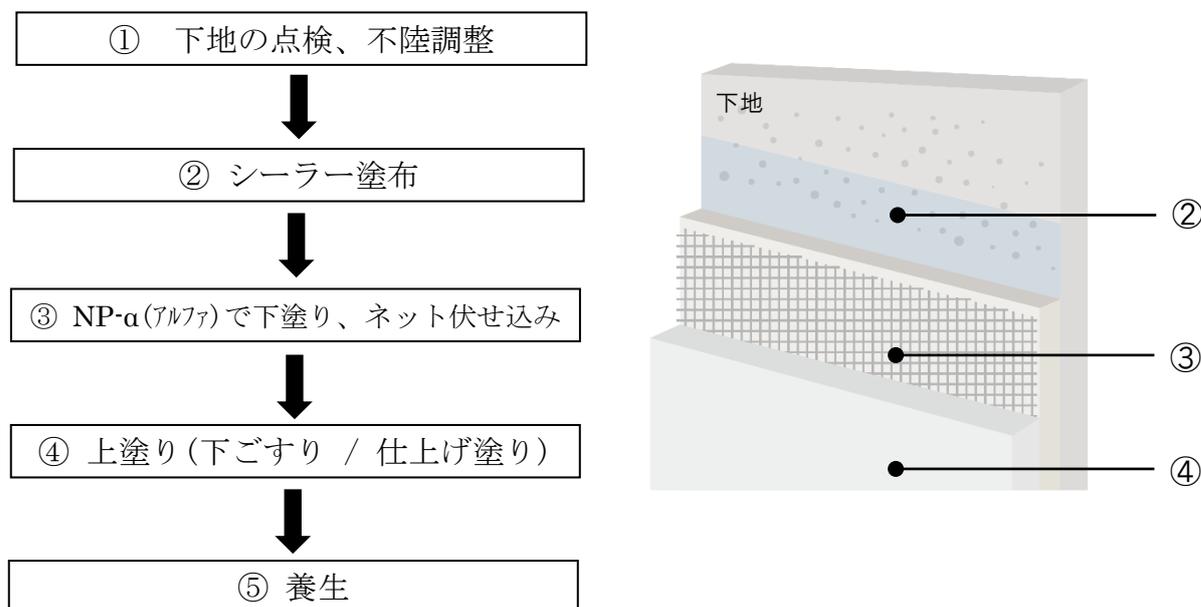


図3. モルタル、コンクリート下地の施工フローおよび構成図

### ① 下地の点検、不陸調整

脆弱部、レイトンス、汚れ等を入念に除去し、健全な下地状態としてください。

### ② シーラー塗布

NP シーラック 3 倍液を刷毛等で下地面全面にムラなく塗布し乾燥させてください。

### ③ NP-α(アルファ)で下塗り、ネット伏せ込み

NP-α(アルファ)で下地全面に擦り込むように塗り付けた後、追っかけで耐アルカリガラスネット(当社製品)を伏せ込んで塗り付け面を平滑にしてください。

※ ネットは上下左右で 10 mm 程度重ねてください。

### ④ 上塗り(下ごすり / 仕上げ塗り)

所定の水量(はいしっくい 1 袋に対して清水 20~21ℓ)で練り混ぜた【はいしっくい】で下ごすりを行った後、水引きを見て仕上げ塗りを行ってください。

また、必要に応じて金鏝押さえを行ってください。

### ⑤ 養生

施工後は強い風や直射日光による塗り付け面の急激な乾燥を防止するため、シート養生等を行ってください。特に、施工後の塗り付け面に強い風があたる場合は、ひび割れが発生する恐れがあるため、万全の養生を心掛けてください。

## 施工上の注意

- 気温が5℃以下および35℃以上になる場合は、施工を見合わせてください。
- 施工前に必ず試し塗りをを行い、仕上がり、および乾燥具合の確認を行ってください。
- 本製品は自然素材です。塗り方、気象条件、製造ロットなどによっては、若干の色差が出る場合があります。
- 極端に塗り厚がある場合、また気温・湿度・風などの施工環境によっては、塗膜にひび割れが発生する恐れがあるため注意してください。
- 施工道具を洗浄した洗浄水を河川や側溝に破棄しないでください。
- 杉板など無垢板にしゅくいが触れると、木部が変色する場合があります。杉板など木部は必ずマスキング等で養生を行ってください。



## 日本プラスター株式会社

本社・工場/〒327-0311 栃木県佐野市多田町188-2  
TEL:0283-62-6511(代) FAX:0283-62-8851

東京営業所/〒110-0015 東京都台東区東上野3-38-4  
TEL:03-3831-3239(代) FAX:03-3835-2048

西日本営業所/〒604-8305 京都府京都市中京区市之町170  
TEL:075-406-5031(代) FAX:075-406-5032